

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		飼い主のいない猫対策事業費 [飼い主のいない猫対策事業]									
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 2	予防費	事業番号		2		
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		環境対策(環境)			課	環境公害		係	課長名		梶川 義夫
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 1	
【施策名】 保健・医療の充実								総合計画書 (ページ)		47	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内に生息する飼い主のいない猫 対策を必要とする市民				→ 市内に生息する飼い主のいない猫頭数 不妊去勢手術費の助成金申請をした市民						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	不妊去勢手術の助成を行うことにより、飼い主のいない猫の増加を防ぐ				→ 不妊去勢手術をした飼い主のいない猫の頭数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の助成 助成制度の周知 セミナーを開催し、市民に地域猫対策を周知				→ 助成頭数 セミナー参加者数						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標		
対象指標	①の数値	頭人	猫頭数 不明 市民数 32	猫頭数 不明 市民数 32	猫頭数 不明 市民数 27						
成果指標	②の数値	頭	113	149	86						
目 標	②の目標値	頭	92	113	149		86				
目標設定の考え方 前年度維持											
活動指標	③の数値	頭人	不妊 61 去勢 52 参加者数 35	不妊 79 去勢 70 参加者数 38	不妊 44 去勢 40 麻酔2 参加者数 0						
3 経費	事業費(実績)		円	654,680	879,159	502,064		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	188,519	341,839	150,064					
		特定財源(国・都・他)	円	466,161	537,320	352,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,662,000	1,676,000	1,650,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	2,316,680	2,555,159	2,152,064						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成15年度								
	(2) 環境の変化 猫の不妊・去勢に対しては、平成19年度から東京都の医療保険政策区市町村包括補助事業(飼い主のいない猫対策補助率1/2)の対象事業となった。平成29年度から助成対象を飼い主のいない猫に限定し、助成額を増額した。平成31年度からは、去勢手術の助成額を5,000円に増額し、更に令和2年度からは不妊去勢手術の助成額を共に5,500円に増額した。また、耳カットがされていないため未手術だと判断して手術を受けさせたところ、既に手術済みということがあり、その場合は、麻酔代がかかるが手術助成の対象にならないので、麻酔代も助成対象として欲しいという市民からの要望を基に、令和3年度から麻酔代3,300円も補助対象とした。										

事業名称	飼い主のいない猫対策事業費 [飼い主のいない猫対策事業]				
担当部署・課長名	環境対策(環境)	課	環境公害	係	課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 麻酔代も補助対象になったことは、この活動を行う上でありがたい。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・ホームページ） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 現在、個々に活動している地域猫活動ボランティアが、連携して活動し、より市民に受け入れられやすいように支援する必要がある。				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 従来より開催しているセミナーは、活動の普及啓発という点で今後も実施する必要があると考えるが、これまでのセミナーを受講して知識を得たボランティア等からは、更に踏み込んだ内容でのセミナーを要望する意見がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 例年よりも踏み込んだ内容の地域猫セミナーを開催するため、台東区所属の講師の方と調整し、セミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、セミナーを開催することはできなかった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和3年度は、セミナーを通した普及啓発ができなかったため、今後は開催形式も検討しつつ、実践的な内容のセミナーを開催できるようにしていく必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 保健・医療の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・地域猫活動についての周知（市報、ホームページ、セミナーの開催など） ・地域猫活動ボランティアの募集				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	地域猫活動の普及は継続しつつ、多頭飼育崩壊などが発生した場合の支援策など、事業内容の更なる充実について検討していく必要がある。				